がん化学療法治療計画書 胃-④ 2023.2

	担当医/指導医	/
	目的	□ 積極的治療 □ 症状緩和
	נים 🗀	□ 術前補助 □ 術後補助
	告知程度	口全告知 口部分告知 口未告知
	告知内容	□ 癌(原発・再発・進行)
		□ 抗癌剤を使用する
	服薬指導	□ 依頼する
身長: \$HEIGHT01_Doc.cm 体重: \$WHEIGHT01_Doc (g	加采 拍等	看護師() 薬剤師()
体表面積 \$BDY00401_DOC m²	HBV感染スク	ツーニング 口 確認済み

体表面積	\$BDY00401_DOC m ²	HBV感染スクリ	ーニング □ 確認済 <i>∂</i>	}		
胃癌 エンハーツ療法 1コース 3週間						
1コ / 3週間						
投与開始日 年 月 日		<u> </u>	コース予算	<u>E</u>		
	6. 4mg/kg Day 1 ラスツズマブ デルクステカン、 商品名:エンバ		<u> </u>	mg		
【投与スケジュール】						
内服薬 アプレピタントcp125mg エンハーツ開始1時間~1時間30分前に服用						
Day1	1) パロノセトロン点滴静注バッグ 0.75mg/50mL	1V	15分			
	デキサート 1.65mg	6A				
	2) 5%ブドウ糖液 50mL	1V	ルートフラッシュ			
	3) 5%ブドウ糖液 250mL	100mL	初回は90分かけ 性が良好であれ 2回目以降は投	ば、		
	エンハーツ ()mg	で短縮可	구떠미조00기 &		
	4) 5%ブドウ糖液 50mL	1V	ルートフラッシュ			
【Day2、3の内服薬】						
Day2、3	アプレピタント(80mg)	1cp -	午前中	2日間		
	デカドロン(4mg)		分2朝・昼食後	2日間		
● エンハーツ100mg1バイアルあたり注射用水5mL で溶解し、20mg/mLの濃度とした後、必要量を抜き取り直ちに 5%ブドウ糖注射液100mLに希釈する。						
● 室温での調製および投与は、合わせて4時間以内に行うこと。						
● 点滴バッグを遮光すること。						
● O. 2 μ mのインラインフィルター(ポリエーテルスルホン、ポリスルホン又は正電荷ナイロン製)を通して投与すること。						
● エンハーツ投与前後は、5%ブドウ糖液でルートフラッシュを行う。(生食不可)						
特記事項						